

平成27年6月16日
電源地域振興課

IAEA天野事務局長、在ウィーン国際機関日本政府代表部北野特命全権大使との 懇談について

西川知事が、IAEAの天野事務局長および在ウィーン国際機関日本政府代表部の北野特命全権大使と、福井県とIAEAが行う協力事業の充実等について懇談しましたので、その概要をお知らせします。

1 日 時 平成27年6月13日（土） 13時～15時30分

2 出席者 【IAEA・政府代表部】

IAEA事務局長	天野 之弥
事務局長特別補佐官	市川とみ子
在ウィーン国際機関日本政府代表部 特命全権大使	北野 充
参事官	谷内 一智
参事官	古田 裕志

【福井県】

福井県知事	西川 一誠
総合政策部電源地域振興課長	吉川 幸文
(公財)若狭湾エネルギー研究センター 顧問	町 末男

3 概 要

西川知事は、IAEAの天野事務局長に対し、今年10月に本県でIAEA主催の国際会議※が開催されることへの感謝の意を表した。

また、西川知事は、国際会議において、福井県の原子力に関する知識や経験を参加国と共有するとともに、国内外の関係者の交流を促進し、原子力人材の育成拠点としての福井県の役割を果たしたいとの意気込みを示した。

天野事務局長は、日本国内での原子力発電、エネルギーミックスを巡る動きにIAEAの加盟国が注目していること、経済成長が進む国々では、増加する電力需要に対応するた

め、原子力発電の導入や拡大を計画している国も多いと述べた。

また、福井県には陽子線がん治療やPET診断など、放射線利用の最先端医療技術があり、長年の経験を有する専門家がいることから、今後、放射線利用や放射線監視などの原子力発電以外の分野を含め、人材育成や共同研究等において、福井県とIAEAの協力を充実させていくこと等が話し合われた。

※「原子力発電計画における地域との関わりに関する技術会合（仮称）」

原子力発電の導入に当たって地域住民等に正しく理解を得るために、IAEA加盟国が経験や実例を共有することを目的とした専門家レベルの会合。平成24年度から開催され、平成27年10月に本県で開催される。

[今後の予定]

開催日：平成27年10月5日（月）～9日（金）

場 所：福井県福井市

内 容：IAEA専門家会合、オープンセミナー、テクニカルツアー（原発等視察）等

お問合せ先

電源地域振興課 前川、加藤

TEL:0776-20-0228